

# I 建学の理念・教育目標

(2022 年度入学生から)

## 1. 建学の理念

ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し技術者として社会人として社会に貢献できる人材を育成する。

## 2. 教育理念

本学園の建学の理念および本校の校是「学・術・道」を踏まえ、人間尊重と生命に対する高い倫理性を持つ豊かな人間性を培う。社会や医療の動向を捉え、看護ニーズに応え得る豊富な専門知識及び技術を身につけ、保健・医療・福祉の発展に寄与し得る看護の実践者を育成する。

## 3. 教育目標

- 1) 人間を身体的、精神的、社会的、スピリチュアルに統合された実在として捉え、対象の基本的人権を尊重できる。
- 2) 地域で暮らす人々の健康課題を環境や価値観、生活との関連の中で総合的に判断することが出来る。
- 3) 科学的根拠に基づきその場に応じた看護を考え実践する基礎的能力を身につける。
- 4) 健康問題の解決のために、自らの役割及び多職種との役割を理解し、連携・協働に必要な基礎的能力を身につける。
- 5) 地域の健康レベルの向上に必要な事業を考え施策化につなげるための基礎的能力を身につける。
- 6) 自らの看護観を深め、主体的に看護を探究する能力を身につける。

学年目標

教育目標	1. 人間を身体的、精神的、社会的、スピリチュアルに統合された実存として捉え対象の基本的な人権を尊重できる。	2. 地域で暮らす人びとの健康課題を環境や価値観、生活との関連の中で総合的に判断することができる。	3. 科学的根拠に基づき、その場に応じた看護を考え実践する基礎的能力を身につける。	4. 健康課題の解決のために、自らの役割及び多職種役割を理解し、連携・協働に必要な基礎的能力を身につける。	5. 地域の健康レベルの向上に必要な事業を考え施策化につなげるための基礎的能力を身につける。	6. 自らの看護観を深め、主体的に看護を探究する能力を身につける。
4年生	生命の尊厳と人間の尊重について考えを深め、看護専門職者としての倫理を考えながら行動し続けることができる。	地域で暮らす人々の健康課題を総合的に判断することができる。	臨床判断能力を持ちその状況に応じて主体的に行動することができる。	保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を理解し、多職種と連携・協働するための視点を持つことができる。	地域の健康水準を高めるための社会資源の開発、システム化、施策化について理解できる。	理論と実践を統合させ、自己の看護観を確立することができる。
3年生	対象を身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな存在としてとらえ、尊重したかわりができる。	地域で暮らす人々の顕在的健康課題を明確にすることができる。	対象の発達段階を理解して対象に合った個別性のある看護が実践できる。	保健・医療・福祉チームの一員として、責任を果たすことができ、グループの中でのリーダーシップ、メンバーシップがとれる。	保健・医療・福祉の動向と地域にある健康課題について理解できる。	自らの看護体験を通して、研究の意義を理解し、探究的姿勢を身につける。
2年生	自己理解から他者理解へ意識を広げ、人間を身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面を持った存在であることを理解できる。	地域で暮らす人々の価値観や健康課題が理解できる。	対象の健康課題に対して、対象の個別性に応じた看護が実践できる。	保健・医療・福祉チームにおける他職種の役割、連携・協働について理解できる。	公衆衛生看護活動の基本的な考え方、展開方法が理解できる。	対象に関心をよせ、思いやりを持ちかわり、自ら行った看護を振り返り省察できる。
1年生	社会の中で生活している人間を理解できる。	看護の対象と対象の生活の場を理解できる。	看護実践に必要な基礎的知識を習得し、日常生活援助に必要な技術を身につける。	対人関係を構築するための基礎的能力を身につける。	地域で暮らす人々の健康の保持増進をする必要性が理解できる。	看護に興味を持ち、看護の知識や能力を向上させるために、主体的に学習を続けることができる。